





2021開催概要

変化する中で、持続化可能なモータースポーツの世界を作り上げる

【これから先のモータースポーツ】

今、自動車社会は大きな変換の時を迎えようとしています。モータースポーツには、自動車の変化と共にこの時代を牽引していくことが求められていますが、これからの在り方として、政府のカーボンニュートラル宣言により自動車産業の在り方と並行してモータースポーツの在り方も考えていかなくてはならない時期に入ったと感じています。

持続化可能な社会を実現するために、カーボンフリー技術の中心となる燃料電地(FCV)・バッテリーEV(BEV)など、将来のパワーユニットやエネルギー領域での 研究開発が投入されていくようになり、それに対してモータースポーツにかかわる人々の順応性も要求されてくると思います。

【レーシングドライバーはアスリート】

しかし、今後どのように車両のパワーユニットが変わったとしても、モータースポーツの世界において人が車を動かす限り、車の性能を引き出すための卓越した運転 技術、身体能力に加え、判断力、闘争心といった他のスポーツに求められる以上の人間力の要素を兼ね備えたレーシングドライバーの存在は変わることがなく、人々 を惹きつけます。スポーツの主役はアスリートである"人"であり、だからこそ、我々は、レーシングドライバーを"ドライビングアスリート"と称しています。 そして女性ドライバーにも同様の価値を見出し、他のスポーツと同様にアスリートとしての競争女子たちの闘い KYOJO CUPを提供し情報発信をしていきます。

【ロウコスト・ハイクオリティのレースの在り方】

今までのモータースポーツは、メーカーの車両開発や車が主役となるスポーツとして注目を集めてきました。その闘いは、モータースポーツの一つの側面としてこれからも続いていくでしょう。しかしながら、コロナ禍で経済も逼迫し、今までのような莫大な資本を開発に投入することができなくなってきた現状下で、モータースポーツを存続させていくためにも、シンプルなあり方を見つめなおすことが求められます。

運転技術競争に意義を見出しそこに価値を与えるモータースポーツを提供していくことで、出場ドライバーとレーシングバトルの質を高め、世界から注目されるこれ からの時代のレーシングカテゴリーを育ててまいります。

【チャレンジしていくことの大切さ】

併せて、オンラインLIVE配信の充実やIPeS、マシンシェアリングなど、デジタル化やサスティナブルな社会にも順応すべくコンテンツを駆使して、今までのイベントの在り方から新たな形態でのファンへのアクセスや繋がりを試みていくモータースポーツ市場として開拓を進めてまいります。

DRIVING ATHLETEの構図

DRIVING ATHLETEでは、インタープロトシリーズとKYOJO CUPの二つのカテゴリー、そしてバーチャルシリーズのIPeSが同時開催されます。 また、パドックエリアでは、プロのレーシングドライバーとの交流を始め、体験型のイベントが無料で開催されています。



専用に開発された同一条件の車両で、年齢、経験に関係なく、真っ向からの言い 訳無用の勝負に挑む。ドライビングスキルから生み出される究極のレーシングバ トルを魅力とするレース



ゴルフやサッカーなど他のスポーツと同様に男女がフェアな環境で闘えることを目的として立ち上げられたレース。女子プロレーサーの世界を確立することを目標とする

シリーズチャンピオンには、2020年度より文部科学大臣賞が授与される。

IPeS

インタープロトシリーズのオリジナルレーシングマシンをMOD作成し、アセットコルサでシムレーサーの日本一を決めるバーチャルレース。本物を再現した新しいカタチのeスポーツレース。シムレーサーとIPS Proレーサーとの対決が行われる。



体験・参加型パドックイベント

- ・IPS車両同乗走行体験
- ・スーパーカー同乗走行(KIDS優先)
- ・次世代パワーユニットカー (HEV/EVC/FCV)試乗体験
- ・旧車試乗会
- ・キッズカート・キッズバイク体験
- ・keeperコーティング
- ・タイヤ試乗体験
- ・iaguar試乗体験
- ・KIDS変身バイク(自転車教室)
- ・ドライバートークショー
- ・O×クイズ/じゃんけんプレゼント大会
- ・LIVEステージ

クリスタルルーム

- ・レディスブース(ネイル/リフレクソロジー他)
- ・VIP・ゲストラウンジ



YouTubeオフィシャルチャンネル 「Inter Proto Series x KYOJO CUP CHANNEL」にて動画配信中



LIVE 1:14:38

KYOJO CUP 決勝(Rd.1)



IPS同乗走行体験 (リポータ - 笠原美香)



2019 Rd.2 KYOJO CUPドライ バーズ・トークショー



IPS×CCS-R ドライバーズ・ト



Inter Proto Series 2020 第二 大会 TOP3ドライバーズイ...



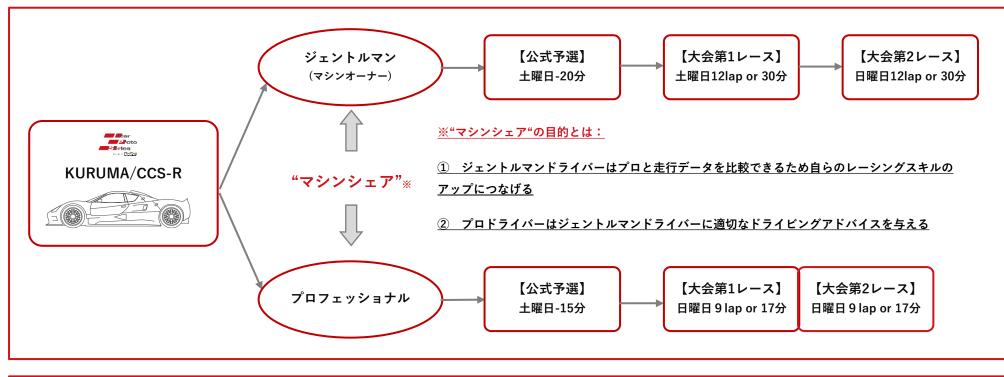
7月4日(土)LIVE配信 是非 ご覧ください!!

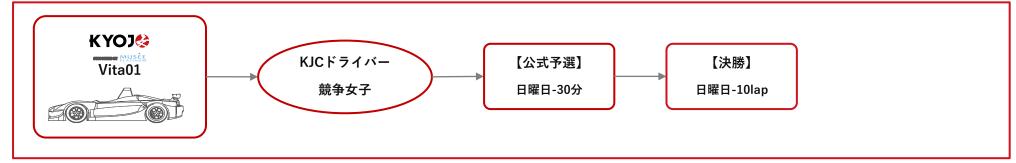


「世界の車走」No.5 ∼ McLaren 720S Spider∼



IPS/KJCレースの仕組み よりシンプルに、究極のレーシングバトルを目指して





使用車両:「KURUMA」/「Vita」

KURUMA

- IPS専用に一から設計を行った国産レーシングカー(プロトタイプカー)
- 多くの富士スピードウェイ近隣のレーシングガレージ の叡智と技術が結集され完成
- アシスト機能やリアウイング等を敢えて採用せず、ドライバー自身のドライビング技術を際立たせることを 目的としている
- マシンのオーナーに名前を付けてもらうため敢えてマシンを"KURUMA"と命名(船の購入者が「○○丸」と名前を付ける感覚)
- タイヤ:ヨコハマ





Vita

- KYOJO CUP使用車両
- 誰でも安価にモータースポーツを楽しむという思想の もとWEST RACING CARSにより開発された
- Vitzエンジン搭載
- 富士スピードウェイ・鈴鹿サーキット・岡山国際サーキット・オートポリス・筑波サーキット・十勝サーキットにて別レースでも使用
- タイヤ:ダンロップ





IPS参戦ドライバー(2013-2020)



坪井翔 2019 IPS Champion



ロニー・クインタレッリ 2018 IPS Champion



関口雄飛 2017 IPS Champion



中山雄一 2016 IPS Champion



平川亮 2013~2015 IPS Champion



阪口晴南



野尻 智紀



宮田莉朋 2020 Superformula lights Champion



福住 仁嶺 2019 SUPER GT Champion(GT300)



佐々木 大樹

IPS参戦ドライバー(2013-2020)



石浦宏明
Superformula Champion(2015·17)



山下健太 SUPER GT Champion(GT500/2019)



小林 可夢偉 F1参戦 WEC series champion(2019/20season)



松田次生 SUPER GT Champion(GT500/2014·15)



蒲生尚弥 SUPER GT Champion(GT300/2017)



国本 雄資 Superformula Champion(2016)



柳田 真孝
SUPER GT Champion(GT500/2011·12)



富田 竜一郎



篠原 拓朗



小高一斗

▶ IPS参戦ドライバー(2013-2020)







土屋 武士



細川 慎弥



三笠 雄一



近藤 翼

KYOJOCUP参戦ドライバー(2017-2020)



小山 美姫 · 2017-18 KJC Champion



村松 日向子 · 2019 KJC] Champion



おぎねぇ



斎藤 愛未



辻本 始温



藤島 知子



荻原 友美



翁長 実希



三浦 愛



星七 麻衣

KYOJOCUP参加ドライバー(2017-2020)



猪爪 杏奈



岩岡 万梨恵



高橋 純子



RINA ITO



山本 龍



細川 由衣花



小泉 亜衣



粟野 如月



平川 真子



池島 実紅

KYOJOCUP参戦ドライバー(2017-2020)







Yeung Denise



大西 恵理



額賀 由里子



古井戸 彩子



Yuri Hayashi



岡村 英莉



RACE

インタープロトシリーズ/KYOJO CUP

国内トップクラスのドライバーの究極の運転技術のレースを展開するインタープロトシリーズ/真剣にレースに挑む女性ドライバー達の闘いである KYOJOCUPを楽しむ。



SPECIAL EXPERIENCE

IPS同乗走行/オープンピット

レーシングドライバーの仕事を直に見て感じても らうことで、その異次元の世界を体感しアスリー トとしてのドライバーの能力を理解してもらう。











FOR LADIES

レディースルーム

サーキットの中に女性の居場所を作り上げ、女子 力向上や疲れを癒すなど、様々なワークショップ に参加しながらレースを楽しんでもらう環境作り。



FOR KIDS

キッズ体験エリア/スーパーカー同乗体験

乗り物を自分で操る楽しさを知ってもらう体験 コーナーを始め、サーキットに興味を持ってもら うための環境つくり



会場:富士スピードウェイ



パブリシティ

■ オフィシャルサイトの充実化

よりユーザー目線に立ち、レースに詳しくない人達にもわかりやすくレースへ誘導できるよう、新規顧客層を増やすための改善を行っています。

Official Website drivingathlete.com

YouTube https://youtube.com/c/IPSxKJCCHANNEL

Facebook https://www.facebook.com/InterProtoMotorSport/

■ Twitter https://twitter.com/drivingathlete

Instagram https://www.instagram.com/drivingathlete_official/



┪←オフィシャルウェブはこちらから

■ Inter Proto Series x KYOJO CHANNEL (動画配信)

YouTubeオフィシャルチャンネルInter Proto Series x KYOJO CHANNELにて、専属の撮影クルーを組み、関谷正徳のトークラウンジを始め、IPSに参加するジェントルマンドライバーやプロドライバーのレースだけでは伝えきれない素顔やこのレースに取り組む思い、スーパーカーのインプレッション、笠原美香のレースレポート、トークショーの模様など定期的に動画の配信を行っています。

また、レース開催時には、オリジナル画像でのLIVE配信も行います。

チャンネル登録者数 3,667名 (2021年1月現在) ※前年比(%):約299% (2020年1月比較)

総視聴回数 32.0万回(2021年1月現在) ※約405%(2020年1月比較)

総再生時間 2.9万時間(2021年1月現在) ※約426%(2020年1月比較)

■ Jsports (CSスポーツチャンネル)

Jsportsにて全大会放送 放送回数16回(再放送含む)

■ その他

東京中日スポーツでの掲載

静岡県東部地域局様の協力により、県東部ミニストップ155店舗、イオンモール7施設、三島信用金庫49行、県関連機関でのポスター、フライヤーの掲示、全 国1700名のふじのくに会員へのDM発送、ネクスコ中日本様の協力によりエリア内9か所のサービスエリアでのポスターとフライヤーの掲示、イオンモール様 の協力によりイベントの開催

オートサロンへの参加、富士スピードウェイ、鈴鹿サーキットでのCM動画の配信

2021年 開催概要

2021 Inter Proto Series

■日 程 第1大会:6月5日(土)-6月6日(日)

第2大会: 7月24日(土)-7月25日(日)

第3大会: 10月16日(土)-10月17日(日)

第4大会: 12月11日(土)-12月12日(日)

■主 催 富士スピードウェイ

鈴鹿サーキット (FSWオリンピック会場の為、特別開催)

富士スピードウェイ

富士スピードウェイ

2021 KYOJOCUP

■日 程 第1大会: 6月6日(日)

第2大会: 7月25日(日)

第3大会: 10月17日(日)

第4大会: 12月12日(日)

■主 催 富士スピードウェイ

鈴鹿サーキット (FSWオリンピック会場の為、特別開催)

富士スピードウェイ

富士スピードウェイ

(いずれも暫定スケジュールです。新型コロナ感染状況により変更となる場合があります。)

■入場料 富士スピードウェイ 土曜¥1,000 日曜¥2,100 中学生以下、または小山町/御殿場市/裾野市在住、通学、在勤者 入場無料

鈴鹿サーキット 大人 ¥2,000 小人 ¥1,000

主催





協賛





































後援









小山町 小山町観光協会 小山町教育委員会 御殿場市 一般社団法人御殿場市観光協会 御殿場市教育委員会 裾野市 一般社団法人裾野市観光協会 裾野市教育委員会 自由民主党モータースポーツ振興議員連盟 スポーツ庁

協力

静岡県東部地域局